



©Yuki Asada

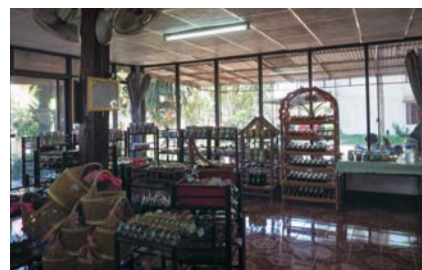
## メコンのほとり、時は緩やかに流れる

時が緩やかに流れる国といわれるラオス。国土の7割を山岳地帯が占め、東南アジアで最も貧しい国とされるが、山や豊富な水は人々に四季折々の幸をもたらし、干ばつのときですら深刻な飢餓が発生することはまれだという。

「ラオスには、恵まれた自然の中、昔からのやり方で自給自足の農業を続けている人たちがたくさんいます。私たちは、ラオス農業の後進性をチャンスに変え、経済、社会、環境のバランスが取れた持続的な発展を目指しているのです。そして、その発展の中心にいるのは農家であるべきだと考えています」。ラオス農村開発支援協会 (ASDSP) の創設者の一人、サウエンスクサー・シーサレオ博士は、ASDSPの理念についてそう語る。

ASDSPの農業支援は、有機栽培農法研修とマイクロファイナンスの組み合わせで成り立っている。農家は有機栽培農法を学ぶだけでなく、自ら事業計画を練って、マイクロファイナンスを利用した栽培を行う。ASDSPは彼らの収穫物を買上げ、加工して、「ラオ・ファーマーズ・プロダクツ」の商品として国内や海外のフェアトレード市場に送り出すのだ。

ラオス南部のパクソン産のお茶は、地元の人たちが丁寧に手摘みしたもの。蜂蜜の入った石けんは、肌を潤しながら優しく汚れを落としてくれる。伝統的な竹籠に収められ、古き良き時代の生活を思い出させてくれるラオ・ファーマーズ・プロダクツの商品は、ラオスの豊かな大地が緩やかに育んだ恵みに満ちている。



ビエンチャン市内の工場には直営店がある。品ぞろえも豊富でお土産にぴったりだ

- ★ラオスのお茶と石けんをそれぞれ1人にプレゼント!  
→詳細は38ページへ
- ★ラオ・ファーマーズ・プロダクツの製品は、日本国内のフェアトレードショップでも購入できます。

